

作成日 2024/08/02

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	シリコンスプレー 滑走・離型 420ml(SS-420)
供給者の会社名称	トラスコ中山株式会社
住所	東京都港区新橋四丁目28番1号
担当部門	品質保証課
電話番号	0120-509-849
FAX番号	0120-509-839
メールアドレス	techno.center@trusco.co.jp
推奨用途	つや出し・滑走剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	エアゾール 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
----------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	極めて可燃性の高いエアゾール 高圧容器:熱すると破裂のおそれ
注意書き	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、穴をあけたり燃したりしないこと。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
応急措置	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
保管	日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。

廃棄 内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS登録番号
		化審法	安衛法	
シリコンオイル	9.5%	(7)-476	既存	63148-62-9
LPG(噴射剤)	90.5%	(9)-1697	既存	68476-85-7

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び LPG(噴射剤)(政令番号:482)(90%～有害物(法第57条の2、施行令 100%)
第18条の2第1号、第2号別表第9)

4. 応急措置

吸入した場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
大火災:散水、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤。

使ってはならない消火剤 棒状注水。
火災時の特有の危険有害性 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
有害でなければ、火気、換気などに充分注意して蒸発、拡散させる。又は、散水して蒸発を促進させてもよい。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

火気厳禁
使用後を含め、穴をあけたり燃したりしないこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

火気厳禁
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

日光から遮断すること。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
シリコンオイル	未設定	未設定	未設定
LPG(噴射剤)	未設定	500ppm(1200mg/m3)	設定あり(*)

*)ACGIHの設定値は下記URLからご確認ください。

参照先: <https://www.acgih.org/>

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
シリコンオイル	未設定	未設定
LPG(噴射剤)	未設定	未設定

設備対策	機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。	
	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。	
	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。	
	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
保護具	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	形状	エアゾール
色		粘稠液体
臭い		透明
融点／凝固点		ほとんど無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点	上限	データなし
自然発火点		>300℃(スプレー原液)
分解温度		約400℃(スプレー原液)
pH		データなし
粘度(25℃)		該当しない
溶解度		1,000mPa・s
		データなし

n-オクタノール／水分配 係数(log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度 (25℃)		0.97 g/cm3(スプレー原液)
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
その他のデータ		使用温度範囲: -50～200℃
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		常温では安定である。
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		缶の温度が40℃度を超えないようにすること。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入: 気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入: 蒸気)) データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性		区分に該当しない:LPG(噴射剤)(出典:NITE) 分類できない:シリコンオイル 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を 含有するため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		区分に該当しない:LPG(噴射剤)(出典:NITE) 分類できない:シリコンオイル 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を 含有するため分類できない。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		GHS定義による固体、液体ではない。
12. 環境影響情報		
生態毒性		
水生環境有害性 短期(急性)		データ不足のため分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性)		データ不足のため分類できない。
残留性・分解性		情報なし
生体蓄積性		情報なし
土壤中の移動性		情報なし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装		専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規制	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	UN No.	1950
	Proper Shipping Name	AEROSOLS
	Class	2.1
	Marine Pollutant	Not applicable
	Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	Not applicable
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
	UN No.	1950
	Proper Shipping Name	AEROSOLS
	Class	2.1
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1950
	品名	エアゾール
国内規制	国連分類	2.1
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコード	非該当
	によるばら積み輸送される液体物質	
特別の安全対策	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	1950
	品名	エアゾール
	国連分類	2.1
		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

126

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当
労働安全衛生法(通知対象物質)
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)
特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

該当
非該当
非該当

適用される主たる国内法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)(LPG(噴射剤))

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)(LPG(噴射剤))

危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)(LPG(噴射剤))

消防法

指定可燃物 可燃性液体類(法第9条の4、危険物規制令別表第4)

船舶安全法

高圧ガス(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

高圧ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

連絡先

トラスコ中山株式会社

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。